

小学生に対する環境教育活動の実践とその評価

11108046

木村 美紗子

11108104

野秋 昂太

11108122

溝部 翔太



小学校教育における 環境教育の目的

1. 環境に対する豊かな感受性の育成
2. 環境に関する見方や考え方の育成
3. 環境に働きかける実践力の育成

研究の目的

大学敷地内の資源を利用して、
環境教育を実践し、評価する。

実践の内容

稲作体験

対象: 亀井野小学校5年生

*** 田植え, 観察会, 稲刈り, 収穫祭**

- ・児童自身が田植え, 稲刈りをする。
- ・観察会では, 稲の生長を観察する。
- ・収穫祭では, おにぎりを作り, 食べる。



谷戸探検

対象: 天神小学校2年生

*** 初夏, 秋, 冬の計3回**

- ・大学生と一緒に小学生数人グループで探検する。
- ・季節ごとに生き物のスケッチなどを行う。



実践の目的

稲作体験...食や環境について学ぶ。
谷戸探検...五感を通じて様々な生き物を発見, 観察する。

評価方法

児童や教員に対して実践の事前, 事後で
アンケートを行い, 集計する。

意識の変化などを比較し, 活動に対する評価をする。
(教育的効果, 時間配分, 安全面などについて)

日程

稲作体験	谷戸探検
田植え 5月	夏 9月
観察会 7月	秋 10月
稲刈り 9月	冬 1月
収穫祭 12月	